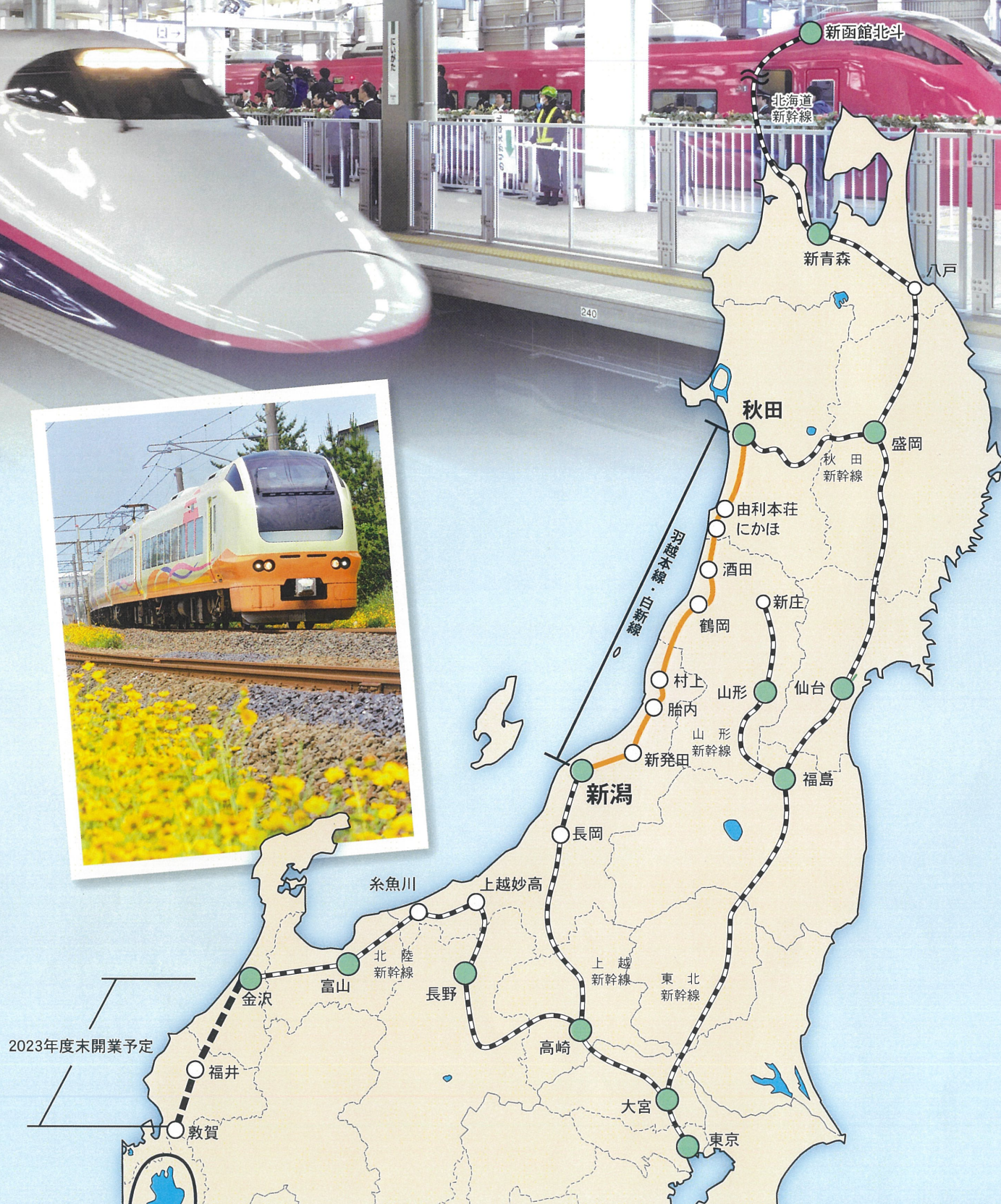
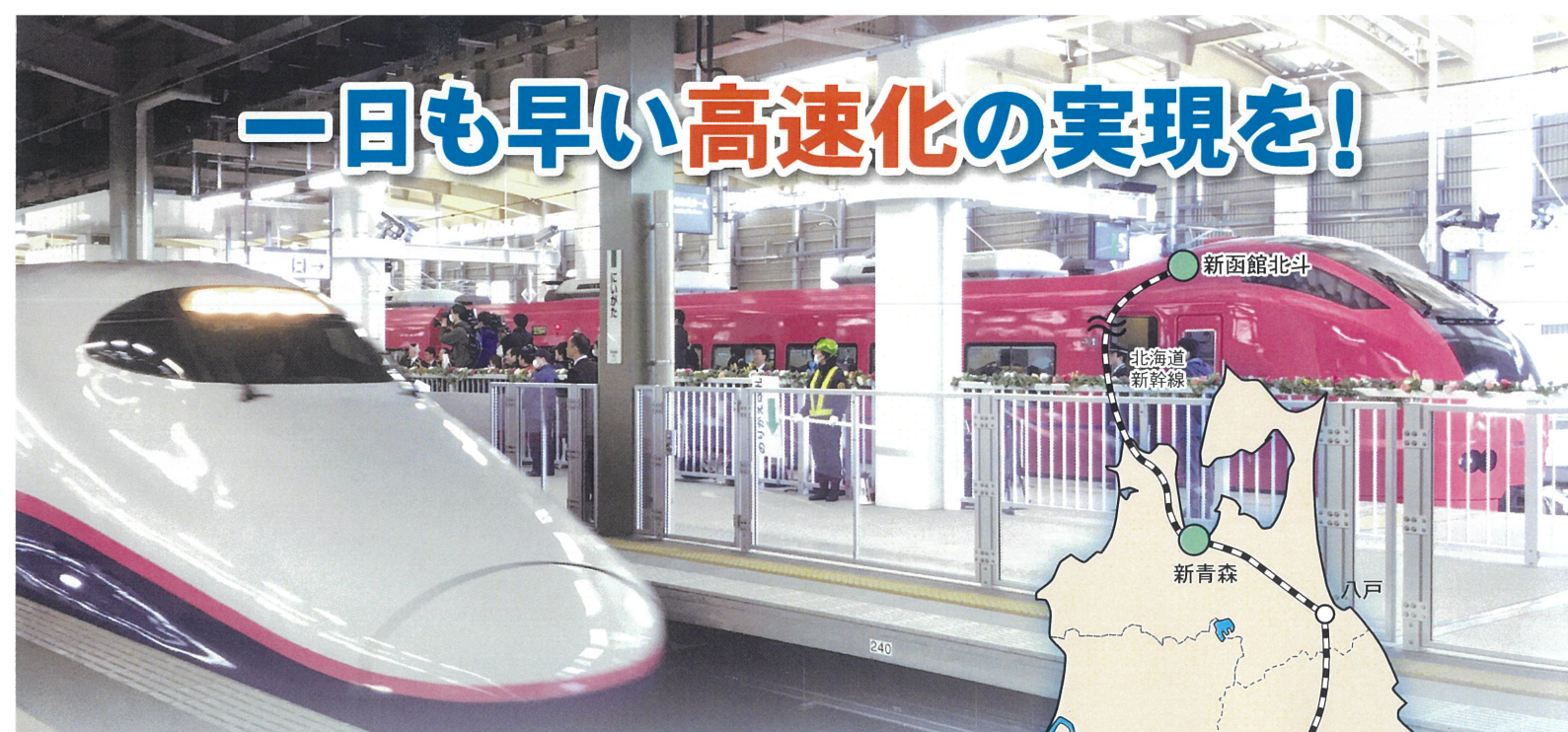


一日も早い**高速化の実現を!**



# 羽越本線高速化 促進大会

**日時** 令和4年**11月10日(木)**  
13:00~14:00

**会場** ホテル ルポール 麴町  
2階 ロイヤルクリスタル

●主催 / 羽越本線高速化・新幹線整備促進新潟地区同盟会  
山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会  
羽越新幹線整備促進秋田地区期成同盟会

●共催 / 新潟県  
山形県  
秋田県





## 令和4年度 大会決議（案）

# 羽越本線高速化 促進大会

## 大会次第

開 会  
主催者挨拶  
知事挨拶  
来賓祝辞  
来賓紹介  
祝電披露  
意見発表  
大会決議  
閉 会

羽越本線は、日本海沿岸地域を縦貫する大動脈であり、全国幹線鉄道網の一翼として、環日本海時代に対応した我が国の発展に欠くことのできない極めて重要な路線である。

平成23年の東日本大震災においては、東北地方と首都圏等との移動手段や被災地へ向けた物資の補給路となるなど、震災時における代替補完機能を発揮し、日本海国土軸形成の必要性・重要性を示したところである。

他方、本路線の高速化は全国的にみても特に遅れており、また、冬期間を中心に強風や豪雪による運休や遅延を余儀なくされ、運行の信頼性が低迷しているというのが実態である。

こうした中、新潟駅の連続立体交差事業の進捗に伴い、新幹線と白新線・羽越本線の同一ホーム乗り換えが平成30年4月に開始し、平成31年3月のダイヤ改正で特急いなほの全定期列車に対応できたことは大きな前進であり、羽越本線の一層の高速化、時間短縮につながるさらなる事業推進が望まれる。

羽越本線は、旅客や貨物の大量・高速・遠距離輸送手段としての役割のほか、地域住民の通勤・通学、余暇活動などの日常生活を支える足として非常に重要な社会基盤である。

また、昭和48年の政府の基本計画に定められた羽越新幹線については、令和3年6月に「羽越・奥羽新幹線関係6県合同プロジェクトチーム」が公表した調査結果において、投資効率性の評価指標となる費用便益比（B/C）は、整備手法の工夫などにより、整備の妥当性の基準となる1を上回る事が確認されている。

将来にわたり地域における自立的発展を可能とし、太平洋側的高速鉄道網とのダブルネットワークの構築による、安全・安定輸送の機能強化と国土強靱化の推進、また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって課題がより明確となった一極集中型社会から分散型社会を目指すためにも、羽越新幹線の整備が必要不可欠である。

については、羽越本線の高速化及び羽越新幹線の早期実現に向け、次の事項について政府及び関係当局に強く要望する。

一、羽越本線の路線改良、複線化の推進などにより高速化を促進すること

一、引き続き、防風柵の設置、気象観測体制の強化などにより、さらなる安全性の向上、安定輸送の確保を図ること

一、新潟駅における新幹線と白新線・羽越本線の同一ホーム乗り換えを活かしたさらなる接続改善に努めること

一、羽越新幹線を整備計画路線に格上げするための法定調査を開始すること

一、国、鉄道事業者、沿線地域間の連携強化を図ることで、羽越本線における利用者の拡大及び地域振興施策などの展開に向けた取組を強化すること

以上決議する。

令和4年11月10日

羽越本線高速化促進大会